

静岡済生会総合病院を受診された患者さんへ

研究課題名	閉鎖孔ヘルニアについての研究
研究の目的	閉鎖孔ヘルニアに対する用手環納は緊急手術を回避することができ、有用な手技と思われますが、まとまった報告は少なく、その有用性に関してはエビデンスが少ない状況です。本研究では過去に当院で閉鎖孔ヘルニアと診断された患者さんを後方視的に検討し、閉鎖孔ヘルニアに対する用手環納の有用性を検討しました。
対象となる方	2012 年 8 月 1 日から 2025 年 10 月 31 日の間に、当院の外科で閉鎖孔ヘルニアと診断された 46 名（男性 1 人、女性 45 人）です。
利用する診療情報	年齢、性別、身長、体重、採血検査結果、CT 画像、用手環納の可否、手術成績、など。
問い合わせ・研究への参加を希望されない場合	<p>この研究についての質問などは下記の研究責任者までお問い合わせください。</p> <p>本研究のためにご自分の診療情報を使用してほしくない場合には、下記にお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの診療情報は本研究対象から除外いたします。</p>
研究責任者	静岡済生会総合病院 外科 田中 征洋 住所：静岡県静岡市駿河区小鹿一丁目 1－1 電話：代表番号 054-285-6171（平日 9 時～17 時）